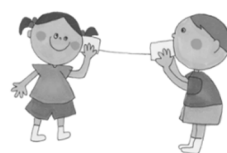


# いと 系でんわ



## ～みんなの感想から①～

4月20日（火）6限、学年目標をみんなで改めて確認し、カエルの気持ちについて考えたことをクラスで交流しました。その上で、わかば学級やわかばの仲間のことについて、各クラスで知り、考える時間を持ちました。

一人ひとり本当にたくさんのことを感じていた様子が感想から伝わってきます。全員の感想を交流できないのが残念ですが、様々な思いを紹介していきます。学年の仲間の思いを知り、日常の仲間づくりや学校生活にいかしていきましょう。



### 言葉について

○私は、普通の人っているのかな、といつも疑問に思うことがあります。「あたりまえ」とか「それが普通やん」とかみんなあたりまえのように言っているけど、「あたりまえって何？」とか「普通ってなんなん？」とか、いつも簡単に言っているような事かもしれないけど、けっこう深く考えなければいけない内容だったりもするから、一つひとつの言葉に責任を持って生活していこうと思いました。1年生の時にも「おたまじゃくし」の学習をしたけど、1年生の時より考え方が深くなって、「ありのまま」や「個性」について改めて考えられた気がしました。「みんなちがってみんないい」これは私が好きな言葉で、みんながちがうからこそ、みんな一人ひとりがいいっていうように、このクラスもこんな風にお互いの違いを認め合えるクラスにしたいと思いました。

○その一言が人を傷つけたり、救ったりするので、使っている言葉といけない言葉の区別をちゃんとつけていきたいです。また、一人ひとりとの接し方も改めようと思いました。何気ない一言で他人を傷つけるようなことはしたくないからです。だから今一度、今まで自分が他人とどう接してきたか、自分がどのような態度をとっていたのか、そのようなことを振り返り、自分をもう一度見つめ直していきたいです。わかばの人たちもクラスにいて、2年生が本格的に始まりました。コロナでなかなか人と話したり、遊んだりする機会がないけど、この授業で学んだことを活かして、人との接し方を改めて考えられたらいいと思います。

○この授業を通して、言葉ってすごく難しいなと思いました。茶色のカエルは「気にしないでいいよ」と言われて傷つくかもしれないし、一文字違うだけで真反対のニュアンスになる言葉もあるので気をつけたいと思いました。また、私が考えすぎなだけだと思うけど、先生が言った「悪くない」という言葉を聞いて、とてもいいわけではないんだという風に受け取ったので、人をほめる時などはマイナスな言葉をプラスにして言うよりも、プラスの言葉だけと言う方が受け取り方が分かれることがより少なくなるということを学びました。まだ○組で素でいるのは難しいけど、○組が終わるまでに心を開けるように頑張りたいです。

## 個性について

○人は面白いなと思った。一人ひとり違うから楽しいんだと分かった。人の個性などを否定したり馬鹿にしたりする人は、まだ自分の個性に気づけていない人なんじゃないかなと思った。つまり、個性の良さや面白さがまだ分かっていない人だということです。みんなが違った考え方や感情、個性を持っているから、この世界は成り立っているのではないかと思います。なので、クラス、学年、学校、これから先ずーっと生きていく上で、人の個性も自分の個性も大切に生きていこうと思います。一人ひとりの個性を否定するクラスは成り立ちません。みんな同じなんて、つまらなくて、面白くありません。みんな違うから面白いんです。なので、みんな、個性を大切に生きていこうと思ってほしいです。一人ひとりの心がけが大事です！

○一人ぼっちとは、周りに誰もいないという状態のことではなく、誰も自分を理解してくれないという状態のことをさすのだと思います。でも、世界には色々な人がいて、皆それぞれ違うのだから、一人だけが周りから圧倒的に離れているなんてことはないと思います。たまたま少し似ている人の集団があって、その中で周りとは違う度合いが少しあるだけで、その人だけが全く違うなんてことはありえないと思います。なので、その似ている範囲を少しずつ広げていけば、いずれはどんな個性を持っていようと、その人のことを理解できるのではないかと思います。しかし、理解するだけで終わってはいけないと思います。その個性の良いところや、人に迷惑がかかるような悪いところを見つけて、その個性を最大限活かす。そして、いずれはその人、一人ひとりが周りにとって必要不可欠の存在になるのが理想だと思います。

○自分の個性を否定されるのは嫌だと思ったから、自分のまわりにそう感じている人がいないか気をつけたいと思った。

○個性は人それぞれだけど、自分だけのものだけど、やっぱりそういう自分の個性がきらいだったり、要らないと感じる時があります。認めたくても認められない、認めたくない個性はみんなもあるのかな、と悩みます。けど、少しずつ認めようとするんじゃなくて、よく知ったり分かるだけでも十分だな、と今は思います。自分の事で家族、友達、誰にも言ったことのない自分がいて、いつかそれを出せる時が来たらいいな、と思いました。だから自分も友

達や仲間の個性を受けとめたいと思っています。

#### ワークシートでカエルの気持ちを考えて

○カエルの気持ちを考えるやつがすごくおもしろかった。「みんなちがってみんないい」という言葉が心に残った。

○茶色と緑色のカエルの話で、周りの人や発表してくれた人の思ったことが自分と全然違って面白と思った。自分には思いつかないような意見だったり、少し似た意見だったり、自分も思いついた意見もあって、本当にいろんな人がいるんだなと実感した。

○最初の茶色のカエルが周りとは違う場面では、ありのままを出せ、ありのままを認められるということの大切さがわかりました。また、緑のカエルが茶色のカエルに声をかける場面の交流をした時、「かっこいい！」や「地面に隠れることができて良いと思う！」という意見があって、ポジティブになれるような声かけでいいな、自分もそんな声かけができるようになりたいなと思いました。

○カエルの話で、自分だけ色が違う時、私はマイナスな表現しか頭に浮かびませんでした。例えば「不安」だとか「なんで自分だけ違うんだろう」とかです。けれど、クラスでの交流で、「自分だけ茶色、ラッキー」などとプラスにとらえている人がいました。私にはまったく考えられない意見だったのですごく驚いたし、それと同時に良くなって思えました。他にもカエルの話で相手の気持ちを考える大切さを改めて感じました。自分には悪気がなくても知らないうちに相手を傷つけてしまうかもしれないので、今後は今よりもっと気をつけたいなと思いました。相手の気持ちを全て理解するのは難しいけど、自分らしさも大切にしながら相手を思い行動できたら一番良いなと思います。

○カエルの色がちがうということは、人それぞれの個性であると分かり、その考えを友達からもらうことができました。考え方がちがっても消さず、考えを深め合うことができると知り、すごく大切なことだなと思いました。わかばに行く人たちの保護者や本人の文章を聴き、わかばだからって差別のようなことは絶対にしてはいけないと強く感じました。苦手なこと、得意なことはみんなちがうので、みんなで支え合い助け合えるクラスになるように自分自身が行動していけたら良いなと思いました。

#### 去年とのちがいについて

○今まで答えがない問題が苦手であまり書くことができなかったけど、去年の一年間で前より自分の答えを出すことができるようになったし、その一つひとつの問題に向き合って考えることができました。先生も言っていたけど、「みんなちがってみんないい」という言葉が本当にいいと思いました。昨年もわかば学級の話聞いたけど、行っている人達は、目標を立

てて、それに向けて精一杯がんばっているんだと改めて思いました。〇〇さんと◇◇さんの話を聞いて、昔のことなどを知れてよかったし、その人自身のことがちゃんと知れたのでうれしかったです。2年生はこれからなので、みんなの個性を認め合って、自分自身の個性も出せるようになったらいいなと思っだし、相手のことをちゃんと考えてから行動するべきだと思いました。

○「ありのままの自分を出せる」は難しいと思います。でも、わかば学級みたいに、お互いをサポートして助け合えば、ありのままの自分が出せるのではないかと思います。1年前にも同じような授業をやったけど、感じたことが全然ちがう気がしたので、少しは成長したのかなと思いました。

○前はおたまじゃくしの話で個性が一人ひとりにあり、それを認めることが大切だということを知ったけど、今回のカエルの話でその考えをもっと深めることができたし、もう一度よく考えることができました。苦手なことや得意なことは人それぞれだし、その苦手な部分をみんなで補うことができたらいいいなと思っました。(わかばの仲間)は)文章を書くのが苦手なのに、クラスのためにかいてくれてすごいなと思っました。自分を出すことはすごく難しいことだなと私は思ったけれど、少しでも出せるようになったらいいなと思っました。

○1年の時のおたまじゃくしの続きが出てきて驚いた。カエル達のように、自分があまり話したくない時にたくさん質問されたりすると、こっちもムカムカするし、逆に相手もなんで答えてくれないんだ、と怒ると思う。だから今回、自分のことを伝えるということがどれだけ必要なのかが分かった。わかばの人達はすごいなと思った。自分の苦手なところを言えるから。自分はあるプライドが邪魔して、なかなか人前では言えないからすごいと思った。わかばだから〇〇とかじゃなくて、クラス全員で支え合いながら1年過ごせたらいいなと思った。

○最初おたまじゃくしから始まって成長して今のカエルになりかける姿になるまで自分って成長したなあとと思っました。おたまじゃくしの絵を見て、1年の時はカラフルなやつ浮いてんな、顔かわってんなあだったけれども、2年になってまた見た時は色ちがってどれもいいな、一つひとつちがっておもしろい、と思っました。最初、クラスに例えてみて、カラフルなやつは浮いている感じがして苦手だったけれども、1年の時のクラスはみんなちがうかったし、おもしろかったし、あんなカラフルでもまとまっっていると思った。1年が楽しかったからこそ、2年も楽しみたいと思っ。1年の目標を超えられなかった分、2年の目標を超えて自分を出せるようにしていきたいです。

○1年生の学活で学んだことを2年の今日の授業でより深く迄考えることができたので良かったです！自分自身もまだ学年目標の「ありのまま」を出せていないと思っるので、これから意識して頑張っっていこうと思っました！